

学会便り 第144回春期大会報告

第34回「女性会員の会」報告

The 34th women's meeting of the Japan Institute of Light Metals

大島 智子

Tomoko OHSHIMA

2回目のハイブリッド開催となった第144回春期大会中、5月13日(土)12:10~13:10に入退室自由の、第34回女性会員の会をハイブリッドで開催した。参加者は合計26名(女性19名、男性7名)、現地参加は20名(うち3名はアルバイト学生)、オンライン参加は6名で、うち1名は赴任先の中国からの参加だった。初参加は社会人3名とアルバイト学生3名の計6名だった。

前回に引き続き、より多くの方に参加いただくために今回も講演大会に参加登録していない人も参加できるようにした。現地参加者の食事時間と歓談時間を分ける目的で、現地参加者はオンライン参加者のスピーチを聞きながら食事を取り、その後接続用PCの前に移動して顔を映しながらスピーチを行い、最後に全体での歓談を行った。会場には久しぶりにお菓子を持ち寄った。

お菓子：瓦せんべい、茶のしずく(世話人)、栃木限定アルフォート(差入：阿部智子さん)、シュガーバターの木(差入：芹澤愛先生)、ピスタチオサブレ(差入：小原美良さん)。

学会託児室を設置し、土日に1名の利用があった。

この場を借りて、香川大学の田中康弘先生ならびに実行委員会の皆様に深く感謝申し上げます。

1. 自己紹介：氏名・所属、ひとこと

参加者には自己紹介とともに、今回のテーマ「ポストコロナ時代に残したい新習慣」で話をさせていただいた。

1.1 ポストコロナ時代に残したい新習慣

コロナに伴う行動制限のなか広まったオンライン会議やオンライン授業は広く受け入れられたようで、継続を望む声が多くあった。社会人からは在宅勤務の継続を希望する方が複数おられた。また、自宅好きな方からは多くの飲食店でのテイクアウトの存続を希望する意見があった。職場で導入された電子印鑑の使用を継続してほしい、といった声もあった。

一方でオンライン講義では聴講者の反応がわかりにくかったので、対面での講義・講演の復活を歓迎する声もあった。

1.2 フリー討議

ひと通り自己紹介とスピーチが終わった後は、初参加の方からの質問(女性会員の会発足の経緯)について発起人の関先生から経緯と苦労話をお話いただいた。(経緯の詳細は軽金属学会HP「女性会員の会」活動記録をご参照のこと)

男性参加者に本会についての感想をお聞きしたところ、お子さんの進路や家庭内の家事分担など、男性とはしない会話



参加者の写真撮影(2023.5.13)

ができる、との意見があった。

また、育児休暇の話題のなかで、留学生から母国の産休・育児状況の説明があり、日本と異なる状況に参加者から驚きのコメントがあった。中国勤務の方からは職場の男女比がほぼ同数で日本と異なる状況である、とのコメントがあり、他国の状況を男女共同参画セッションのテーマとして取り上げてもいいのではないか、との意見が出た。

2. おわりに

次の第145回秋期大会もハイブリッド開催と決まっており、女性会員の会も開催を予定している。女性会員の会は女子学生、女性会員だけでなく、女性の活躍を応援する方、女性の意見を知りたい方、男女共同参画にかかわる話題に興味のある方など、多くの男性の参加も歓迎している。飛び入り参加大歓迎、多くの方の参加をお待ちしている。

軽金属学会「女性会員の会」

<https://www.jilm.or.jp/page-resource04>